

フシグロセンノウ

Silene miqueliana (Rohrb.) H. Ohashi et H. Nakai

ナデシコ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

個体数がきわめて少なく、また、大形美花のため採取される。(現況:RO)

形態

茎の節は高くなって黒褐色を帯びる。葉は対生し、倒卵形で、基部はしだいに細くなる。茎の上部に鮮やかな朱赤色の花を数個つける。花弁はほとんど切り込まれない。

国内分布

本州、四国、九州に分布するが、日本海側の多雪地帯には少ない。

県内分布

おもに南加賀区に分布するが、県内全域のヤブツバキクラス域からブナクラス域下限の林縁にまれに見られる。

生態など

高さ50~80cmの中形多年生草本である。開花期は8~9月。瘦果は長楕円形で、先が5裂する。種子は腎形、黒色で小突起を密生する。

生育環境

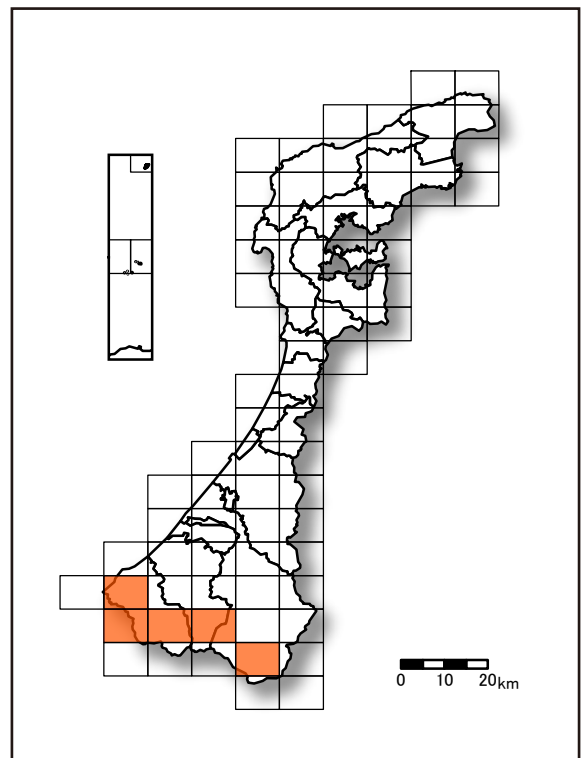
丘陵から山地の谷あいの明るい林内から林縁、そのほか湿った伐採地や半日陰の草地にも見られる。

危険要因

森林伐採、園芸採取。



林 二良・2008年8月27日・白山麓



県内の分布